

スタッフ・ディベロップメントの一環として、海外大学の職員研修プログラムに参加

スタッフ・ディベロップメントの一環として、職員 3 名がベルリン自由大学で実施された研修に参加しました。本研修は、約 50 か国の大学から 190 名を超える教職員が集まり、計 8 つのテーマに分かれて実施されました。各テーマに関して、複数の大学が自身の大学のグッドプラクティスや課題を発表し、参加者同士で課題解決方法などについて議論しました。

今回の研修を通じ、国際的な視点で高等教育における共通課題や先進的な取り組みに触れ、大きな学びを得ることができました。特に、若手研究者支援、外国籍教職員の受け入れ体制、ジェンダー・ダイバーシティに関する制度など、各分野での実践的な知見が共有され、本学における今後の制度改善や支援体制の強化に活かせる多くのヒントが得られました。異なる文化や価値観を持つ参加者同士が率直に意見を交わすことで、共通課題に対する多様なアプローチがあることも認識できました。

【出張概要】

1. 日程

2025 年 6 月 23 日～6 月 27 日

2. 出張国・都市・訪問先

ドイツ・ベルリン・ベルリン自由大学

3. 内容

ベルリン自由大学主催の「FUB International Staff Training Week 2025」に、Erasmus+ Project の Staff Mobility Program による派遣者として参加した。

＜プログラムのテーマ＞ ※③⑥⑦のテーマに参加

- ①Academic Success and Career Integration for International Students
- ②Collaborative Online International Learning (COIL): Creating an international impact at home
- ③Gender and Diversity in Higher Education - Insights from the Margherita von Brentano Center
- ④Exploring different paths of student mobility
- ⑤The Power of Connection: Navigating Regional Partnerships and International Networks
- ⑥Onboarding and Retaining New (International) Staff Members: Building Your Toolkit
- ⑦Empowering Postdoc Support: Innovative Strategies and Global Collaboration
- ⑧Job Shadowing in Translation and Editing Services – Professional Standards and Practices